

昭和五十六年五月
飛鳥藤原宮発掘調査出土木簡概報(六)

藤原宮出土木簡(五)

奈良国立文化財研究所



清和元年六月廿七日

...

咸亨六月廿七日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

この概報には、さきに公刊した「藤原宮出土木簡(四)」(昭和55年4月)以後、藤原宮の調査で出土した木簡について、その主要なものを収録した。

一、木簡出土の地点と状況

第二九次調査 (GAJBR-Q区)

昭和55年4月、56年3月

本調査は藤原宮東面大垣を中心とする地区で行ない、約三〇〇〇m²を発掘した。調査区は一昨年度行なった第24次調査地の南に接する。

検出した主要な遺構は、宮東面大垣SA175・外濠SD170・内濠SD2300・土壙SK2801・2803等があり、他に藤原宮期以前の建物、古墳時代の溝等がある。木簡はSD170・SD2300・SK2801から総計一五五一点が出土した。

SD170は東面大垣SA175の東約二〇mを北流する素掘りの南北溝で、宮東面外濠に当る。幅約五・五、六・〇m、深さ一・二mで、全長約四七mを検出した。堆積土は四層に分れる。第一・二層からは少量の遺物が出土し、第三層から瓦・土器・木簡・木製品が出土し、第四層は無遺

物であった。なお第一層は溝埋めたての土層である。木簡は濠全面にわたり一四三九点出土した。

SD170からは、昭和五三年本調査区に北接する第二四次調査で三三八点、昭和五四年第二四次調査区に北接する第二七次調査で八七八点の木簡が出土した(奈良国立文化財研究所『藤原宮木簡二』、『藤原宮出土木簡(四)』参照)。

出土木簡の年代については、大宝以前七点、大宝以後六点であり、また荷札も「評」表記一六点、「郡」表記一一点であるので、大宝令施行以前のものでかなりの数を占めると考えられる。内容的に注目すべきものとしては、宮城門号の「多治比山部門」と記すものがあり、第二七次調査出土の少子部門・建部門とともに藤原宮東面宮城門号を考える史料となる。官司名では、中務省、民部省、皇太妃宮職、宮内省被官官司の大膳職、大炊寮、内膳司、造酒司、園池司等がある。皇太妃宮職は、文武天皇の母で、次に即位して元明天皇となる阿閉皇女のために設置されたものとみられ、初見の官司として貴重である。

SD2300はSA175の西約一二mを北流する素掘りの南北溝で、宮東面の内濠に当る。幅約二・五、三・〇m、深さ約七〇cmで、全長三六mを検出した。堆積土は三層に分

れ、木簡は第二・三層から瓦・土器・木製品と共に六九点出土した。溝南半の幅の拡がっている所からの出土が多い。年紀のある木簡はないが、荷札で第二層から「郡」表記三点、第三層から「評」表記一点が出土している。また「皇太妃宮舎人」と記したものが注目される。

SK2801はSD2300の東岸にある土壙である。東西三・六m、南北一・一mの不整形を呈し、深さは約〇・六mである。埋土は三層に分れ、木簡は第一・二層から土器・瓦・木片とともに四四点出土した。このうち三四点が削屑であり、内容的に顕著なものはない。

第二九一六次調査 (6AJH-Q区)

昭和55年8月～同年10月
本調査は檜原市飛弾町再開発計画に伴う事前調査として、藤原宮南面西門推定地西方の宮南面大垣から外濠付近で行なった。面積は約三〇〇㎡である。

検出した主要な遺構は、宮南面大垣SA2900、外濠SD501、内濠SD502等がある。これらの遺構は想定位置より、内濠で四・六m、大垣で四・四m、外濠で九・三mいずれも南で検出した。木簡はSD501から六点出土した。

SD501はSA2900の南約二五mを西流する素掘りの東西溝で、宮南面外濠に当る。幅約六m、深さ約一・三mで、東西六m分を検出した。堆積土は五層に分れ、第一層は溝廃絶時に堆積した層、第二・三層は瓦・土器を多く含む層、第四層は木簡・木製品・瓦を少量含む層、第五層は瓦・木片を多く含む層であった。木簡の内容では「考仕令」と読める小断片が注目できる。

二、凡例

(一) 釈文は出土遺構ごとに掲げ、同一遺構の中では、内容分類によって、文書、付札、その他の順に配列するのを原則とした。

(二) 最上段に出土地点(アルファベット・数字)、次の段に形態を示す型式番号を記した。型式番号は次の通りである。なお本概報では千位の6を省き三桁の数字で表わした。

6011型式 長方形の材。

6015型式 長方形の材の側面に孔を穿ったもの。

6019型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6011・6032・6051型式のいずれかと推定される。

- 6021型式 小形矩形のもの。
- 6022型式 小形矩形の材の一端を圭頭にしたもの。
- 6031型式 長方形の材の両端の左右に切り込みをいれたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。
- 6032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれたもの。
- 6033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を尖らせたもの。
- 6039型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6031・6032・6033型式のいずれかと推定される。
- 6051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。
- 6059型式 長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6033・6051形式のいずれかと推定される。
- 6061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。
- 6065型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。
- 6081型式 折損・割截、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。
- 6091型式 削屑

(三) 釈文に加えた符号はつぎの通りである。

くく 抹消した字画のあきらかな場合に限り原字の左傍に付した。

■ 抹消により判読困難なもの。

□□□ 欠損文字のうち字数の確認できるもの。

□□□ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。

□□□ 欠損文字のうち字数の数えられないもの。

□□□ 記載内容からみて上または下に少くとも一字以上の文字を推定したもの。

「」 異筆、追筆

∟ 合点

・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。

カ 編者が加えた注で疑問の残るもの。

マ マ 文字に疑問はないが意味の通じ難いもの。

〔 〕 校訂に関する注のうち、本文に置き換わるべき文字を含むもの。

() 右以外の校訂注および説明注。

(四) 釈文の出土地点の上に付した*印は、口絵図版に写真を掲げた木簡を示す。*は図版一に、**は図版二に掲げた。

QH 29 081 正親□

* QK 29 081 皇太妃宮職解 卿等給布廿端〔目下〕

慶雲元年〔十〕

QH 29 081 授刀□

□□

* QH 29 081 詔大命乎伊奈止申者

頂請申 便人和〔安〕

QM 29 081 □所請□酒一二升

QH 29 059 伊中地〔三〕□三代賜

毛□東務□□□

QP 29 081 台忍身

QV 29 051 八月上番□□□□□

QV 29 081 佐□石末呂 弓削足瀨

□〔下〕□〔番〕

* QK 29 081 □女御門賜台詔人都□即女

QT 29 081 □〔御〕□〔門〕□

QT 29 081 □大御門〔懸〕□四口□

□〔喜〕□□□□

QL 29 081 . 勅旨

□
□

QH 29 019 . 真吉列 神人 国益

□
□^[麻] □^[列] □^[了] □
麻呂

QH 29 081 . 親王宮竹目^[卅]

□
□^竹 □^目 □

QR 29 081 . □
加冠 □ □ □

□
□^{加冠} □

QK 29 081 . 駕車 □

□

QL 29 081 . □^[榜] □^[榜] □^[藉]

□
□

* QH 29 081 . □^[人] □^[人] 阿倍大臣 直^[賜] □^[賜] 御馬一匹 殿

□^[緒] □

* QM 29 081 . 多治比山部門

□
□^{多治比山部門} □^門 □

* QS 29 019 . 弓列人 □^[東] □^[東] 田 □

真吉列人^[中] □^[中] 末呂列人

QH 29 081 . □
□ 今日莫 □

□^{万呂} □

QK 29 081 . 具志 意美列十人 □ □

去^[火] □^[火] 頭百 □

QI 29 081 . 十人刀士

QP 29 081 . □ 月御^{〔横〕} □

□ 人草原

QP 29 081 . □ 常當

有 □ 上八位

QI 29 081 . 五人 廿七日

□ □ □ □

□ □ □ □^{〔加都〕}

QP 29 081 . □ 日石川難波麻呂朝臣

□ □ □ □

□

QH 29 081 . 丈了根得 □ □

□

QJ 29 081 . □ □ 金刺舎人荒山

□ □

巳時食酒飯也

* QU 29 011 義法師

比長 □ □ □ □ □ □

□^{〔矢〕} 田大末 □ 眞皮 □ 君 □

* QU 29 011 義法師

QM 29 019 . 栗栖忌寸赤末呂

長忌 □ □ 末場

使直丁比支

QS 29 081 廣椅 □ □ 平羣首川嶋 □

QL 29 081 . 和尔了 □ 末呂

今度 □ □ □ □

□

QJ 29 081 . 刑了^{〔荒〕} □ 人 □ □

□ □ □ □

QK 29 081 刑部直

QI 29 019 □ □ 新木首今 □ 六 □ □

QH 29 011 白 □ 髪ア 三

QN 29 081 □ □ 若櫻ア

QH 29 081 □ □ 須田連

□ □ □ □ □ □

□

QH 29 019 □ 枯連三楯

QV 29 081 □ 各田 □ 髪ア

□

QU 29 081 □ □ □

□ 川久治良

□ □ 上

QJ 29 081 □ □ 伊我ア 田 □

□ □ 小

QN 29 081 □ 部黒麻呂

QK 29 081 □ □ □ □ 鳥取連首末呂

□ □ □ □

□ □ 天ア 大 □ 了首廣椅

大石能可廣嶋

刑了直子虫

* QT 29 011

□川千代
川内志貴千代

山代久勢千代

QH 29 081

□女稻手女大刀自女

QV 29 081

二町
□□^田二町

□主□□□

QR 29 081

□^人可礼志

□多比奈□^麻呂

QV 29 081

□伴年□

QM 29 081

宿宿祢祢

QV 29 081

□□麻呂

QO 29 081

□^朝□^臣□^三□麻呂

QP 29 019

□首末呂□

QI 29 081

□真刀自

QH 29 081

古万呂□^七月□^九日

QM 29 081

□□^女刀自女

QV 29 081

安麻呂□□□

QI 29 019

□□ア身万呂

QK 29 081

□^月□^三葉女

QL 29 081 五日常食一日米廿^{〔石〕}七斗六升 □米□

QS 29 081 □□□□ 五月一日少録^{〔水〕}□^{〔屋〕}臣石敷

QT 29 081 □升十月日□附子了□

□□
□

QJ 29 081 □明日□運□

□月廿九日付^{〔少了〕}□□

QS 29 081 廿五日^{〔司夫進〕}□□□□□

□□□□□□

QL 29 081 □□□進 □一斗 乎^{〔知〕}一升

QK 29 081 七月^{〔任〕}以日 □丁女□ /

□□
□

QR 29 081 □十三日用掃□

QH 29 011 □

□慶雲元年七月十一日

QI 29 081 三年十□

QK 29 081 正月^{〔廿〕}□□□

QI 29 081 □□四月廿三日□

□□

QH 29 081 □六月四日□□

**
QH
29
059

弟国評鞆置三
(山背国)

QI
29
019

曾布上郡大宅里
(大倭国)

QH
29
081

七斗四□

QI
29
081

□升 □一斗

QT
29
081

一俵

QK
29
081

□
□
□
□
古十六日
□伊

QI
29
081

□呂
古四斗

QS
29
081

定□_遺六十五

QN
29
032

飯野贄
(伊勢国飯野郡)

QK
29
081

□_曲□評川ア□

**
QI
29
032

伊勢国木油二斗七升

QT
29
032

里人川
□_{物ア}□_{末呂}□_中□□□□□□

伊勢国三重郡川尻

**
QK
29
032

日下里人大戸首末呂戸諸方薦一枚

**
QK
29
033

高安評坂本里
(河内国)

QH
29
081

庚子年三月十五日川内國□_安
(文武四)

**
QH
29
033

山科里阿那之奈西二枚

QT 29 039 志摩國嶋郡

QM 29 039 (志摩國) 塔志

QJ 29 039 (尾張) 國郡

慶雲三年十二月

QO 29 039 伊豆國田

QN 29 032 (文武三) 戊戌年三野國厚見評

里秦人 五斗

** QK 29 031 科野國伊奈評 大贄

QL 29 019 (文武三) 己亥 國小丹

御調塩二

QU 29 011 (若狹國遠敷郡) 己亥年 里人若倭了身塩二斗

QO 29 011 戊戌年 (若狹國) 評 里人

QJ 29 031 (若狹國) 三方評 竹田了里人 海了虎

QM 29 051 三方評 竹田了里人 和尔了大伴塩二升

QM 29 039 三方評耳里

QJ 29 019 (若狹國) 野里中臣了石人塩二斗

** QH 29 011 (但馬國) 己亥年十二月二方評波多里 大豆五斗中

**
QL
QH
29
033

戊戌年六月波伯吉國川村評久豆賀里□□

QH
29
039

(出雲國)
楯縫評万呂志里物了知米□□□□

QT
29
081

備前國勝間田郡荒木田里

QK
29
081

(出雲國)
[大]原評□□□□

**
QK
29
039

紀伊國海了郡□里 木本村海了字手調

QK
29
031

次評□□_[字]
軍布里

QH
29
039

長郡□前里□□□□□□□□□□

QI
29
031

海評前里
軍布

□□□□□□□□

QN
29
039

周方國伍波□

QK
29
032

久米

余戶□

QJ
29
081

周防國□□□

QH
29
081

國_[既]多郡氷□海藻

QH
29
039

佐用郡□

QJ
29
081

郡紫志里人矢作□

里□□

QK
29
081

可_[毛]里矢田了三國一斗一合_[二]

QJ
29
019

□^鮑
大贄

QK
29
081

□里贄□□

QH
29
081

□
□
□里大^贄
□

QJ
29
032

□
□郡大贄□
□
□

QN
QM
29
033

□
大贄佐目五十斤

QT
29
039

□
□大贄十五斤和銅二年四月

QH
29
059

□津里贄

QI
29
059

□腊大贄壹斗五升

QV
29
033

□
□^郡
□
□
□腊一斗五升和銅二年七月^日
□

QH
29
039

□ア君首□□

QH
29
059

矢田ア□

QN
29
039

□評
□
□
□
□比古大虫

QH
29
039

□三古廿斤

QO
29
081

□大田春税五

QM
29
059

□^天嶋^穂
□^名
□心太廿斤

QT
29
033

□^首
□里人犬甘咋手弥留廿斤

QI 29 032	QM 29 032	QJ 29 051	QN 29 033	QH 29 032	QP 29 032	QV 29 059
須之吉一 尔閑一	黑多比二 生堅魚	佐米楚割	多比楚割	〔牟邪之〕 舍人連 三斗一升 日置 □ 其 目	若俠十五勺二文 志麻十二勺 □隱伎廿勺 三文	□得麻呂

QS 29 039	QN 29 051	QR 29 059	QT 29 051	QK 29 019	QH 29 051	QH 29 051	QR 29 051	QO 29 032	QT 29 051
伊貝一斗	薄鮑	□ □ □ □ 鮑一古	夏鮑	□一古夏鮑一古	河鬼加布打	加支鮑	加岐鮑	津備七升	□伊和志

**
QM
29
051
字迹塌

QH
29
032
撫米二古奈乃利毛一古

QT
29
051
奈乃利毛

**
QJ
29
032
毛豆久

QR
29
031
煮大贅

QH
29
039
毛 御

QI
29
032
廿七斤

QK
29
032
上

QJ
29
081
五月大一日乙酉水平

QT
29
081
春季月上

戊
午夏夏 風

QI
29
081
母母 戊戌年 月月加 在廿

大人 受 受 須 奉

QN
29
081
戊戌

QT
29
019
 生 有者 将物曾

QP
29
081
道可非常道

QT
29
081
七十卷

七月大一日甲申

内濠 SD2300

* QH 40 081 . 皇太妃宮舎人 請葉

□ □ □ □ □ 右二品

QJ 40 019 . 大神御宣 久良 □ □ □ □ 水内 □ □ □ □

犬上尔支田女 右 □

QJ 40 019 藍柄煮竈薪木法文欲

QM 40 081 . 受者三達

「 苺 」

QJ 40 081 □ □ □ □ □ [麻呂]

大神 □ 志

文職 □

QJ 40 019 . 堀江忌寸川万呂

□ 田臣高見多米

□ □

掃守首鳥万呂

QJ 40 081 .

□ □ □ □ □

□ 箱 入 咄

□ □ □

□ □ □ □ □ □ □ □

■ 一 四 〃

QI 40 011

水内麻根 □ [鷹]

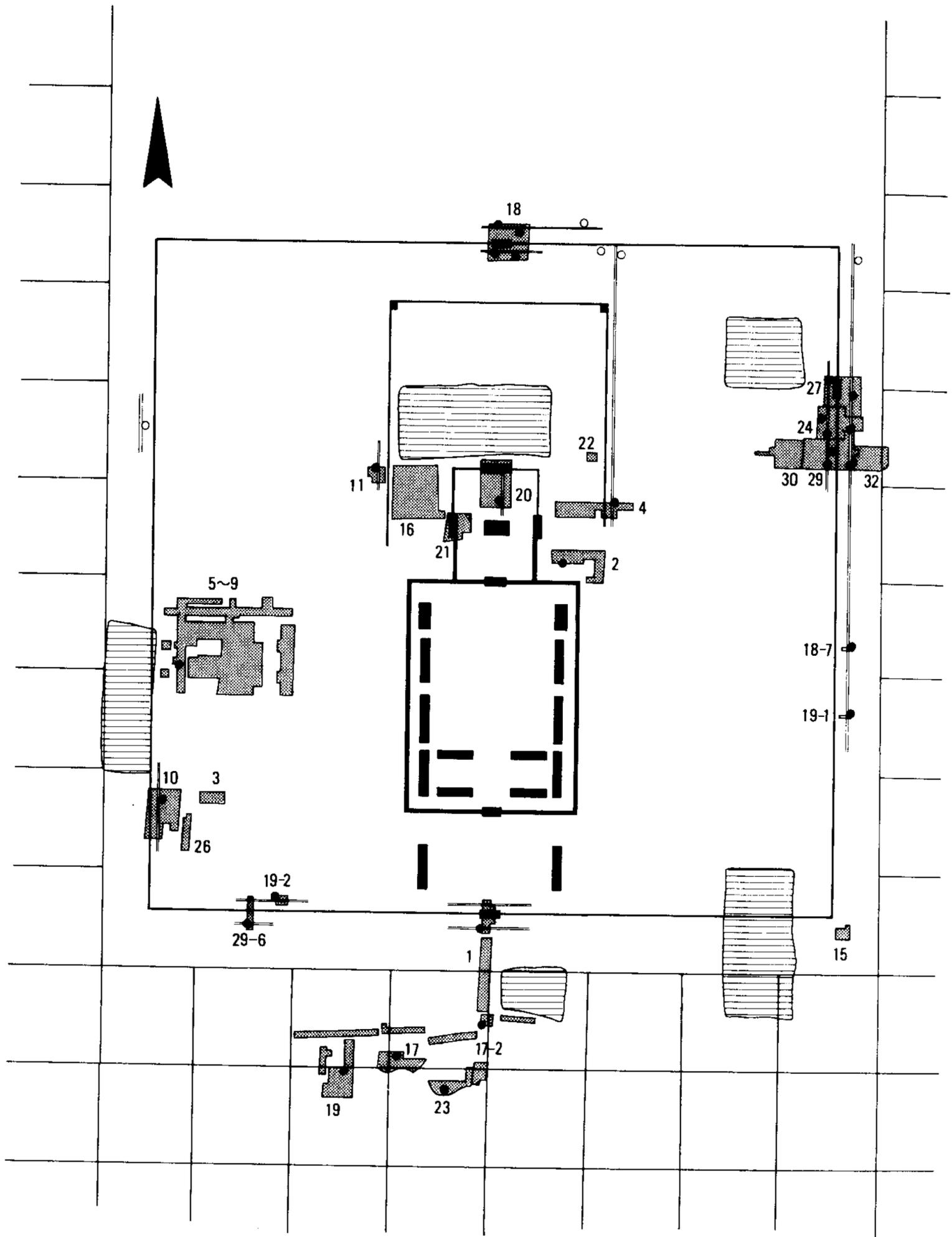
蔵職

危

□ □ □ □ □ [守] 田

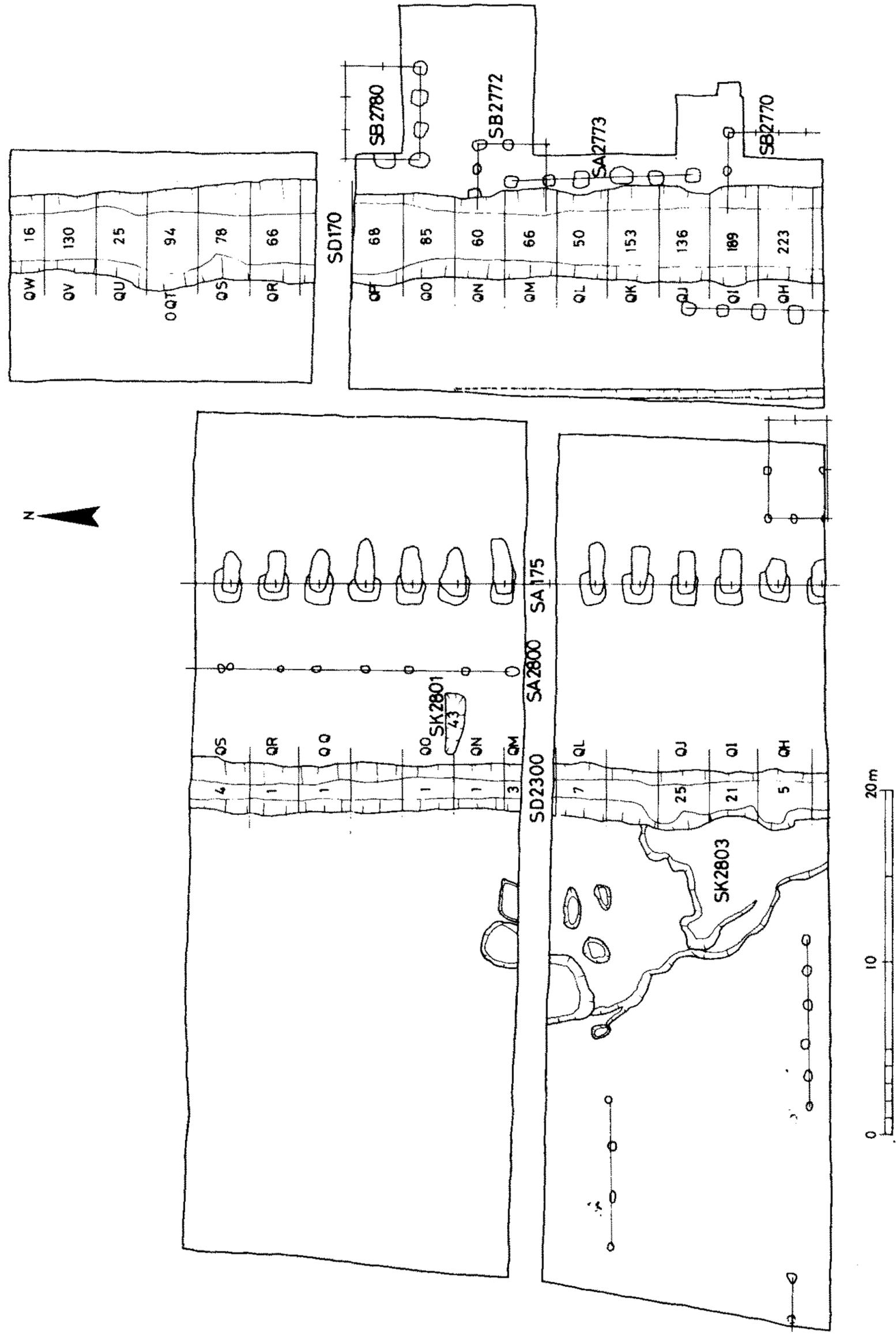
□ □

藤原宮木簡出土地点略図



- 文化財研究所調査
- 奈良県調査
- 数字：調査次数

第29次調査 木簡出土遺構略図



数字は木簡の出土点数。溝は3 m間隔の小地区ごとに点数を記す。